

腎盂尿管移行部狭窄症に対する ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術

当院では手術用ロボット (da Vinci si) の導入により 3D の拡大視野で繊細な手術手技を施行することが可能となりました。

残念ながら 2014 年 12 月現在、腎盂尿管移行部狭窄症に対するロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術は保険適応になっていません。当院ではロボット支援手術の利点を腎盂形成術にも利用すべきだと考え、全額自己負担（自費診療）となりますが、ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術を開始いたしました。



術者（左側：緑色術衣）は左側にあるコンソールボックス内のモニターで腹腔内を確認しながら手元のレバーを操作します。右側にあるロボット本体のアームは助手（右側：青色術衣）がサポートし、術者の操作に対応して動き、手術を進めます。

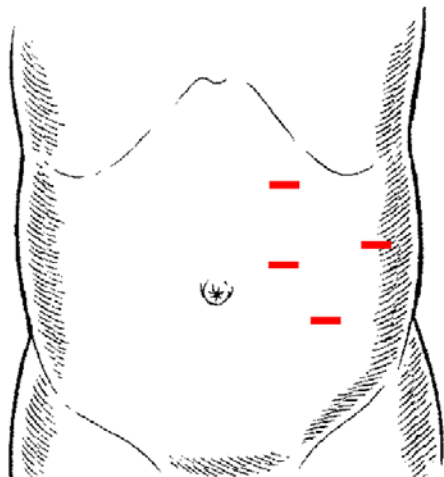
※ 当院にてロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術を行う最初の 5 例は同意を文書にて確認したのち、入院中治療費の半額を病院が負担します。よって約 50 万円のご負担となります（全額自費の場合は約 100 万円）。

※ 治療経過によってさらに自費負担が増えることがあります。

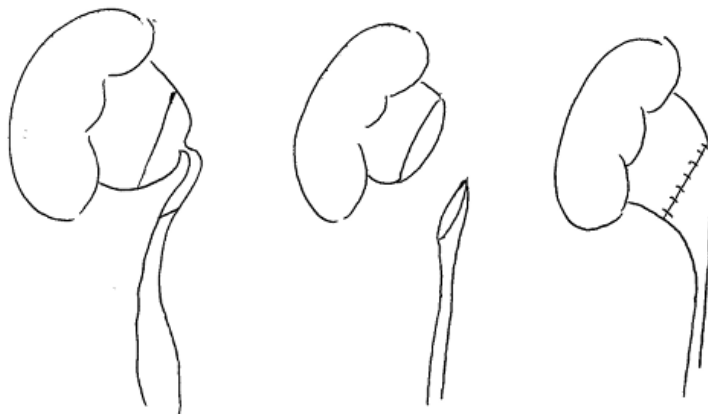
手術の実際

腹部に約 10mm の切開を 4 箇所起し腹腔内を炭酸ガスで膨らませ、腹腔内で手術を行います。腎盂尿管移行部の狭窄部位を切除し腎盂と尿管を吻合して尿の通過を改善させます。

①



②



※術翌日より食事・歩行開始し、順調であれば術後 4 日目に退院可能です。

※手術の詳細、費用については直接主治医にご相談ください。

診察を御希望の方は泌尿器科の外来予約をおとりください

電話予約センター

042-778-8855 (直通)

受付時間：平日

午前8時30分～午後6時

土曜日 (第1, 3, 5) 午前8時30分～午後3時